

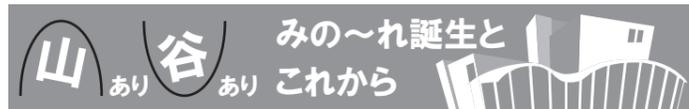
小美玉市の文化情報はなんでもおまかせ！

みた？みた！マガジン
おみたMagazine

未来を描く！リスタート



2022.11.3 みの〜れ



21世紀になってまだ日の浅い2002年11月3日、それが私の生まれた日です。小美玉市になる前、美しい野の里という町の平地林を切り拓いた地に、産声を上げたのが私「みの〜れ」です。私が生まれるまでの道のりは決して平坦ではなく、何度も繰り返される対話から芽生えた「成長する文化センター」「呼吸する文化センター」を目指すことで理解

を深め、ようやく生まれてきたそうです。だから「みの〜れ」という名前は山あり谷ありを意味する「〜」なんです。20歳になった私はちょっとは誇らしいと思ってもらえる存在になれたでしょうか？そういえば20年前に今の私のことを予想していた人たちがいたようです。驚いたことに見事なまでに、人々がつどい、つながり、つくる場所に成長できたこと。嬉しいお話ですね。これからもたくさんの人たちと共に呼吸し、成長し続ける私でありたいと思っています。さあ、次の20年後へのお話をはじめましょう。<遠藤雅樹>

CHECK!! チケット&申し込みインフォメーション



第8回コスモスシネマ
大コメ騒動
2023年2月19日(日)
①10:00 ②14:00
生涯学習センターコスモス文化ホール
◇料金
1,300円(当日券)
1,000円(前売り券)
◇全席自由

1月7日(土)チケット発売! 0299-26-9111(コスモス)



小美玉市文化協会講演事業
パラエティショー
2023年2月26日(日)
13:30
小川文化センター アピオス 大ホール
◇入場無料(要整理券) ◇全席自由
◇出演:立川成幸、3ガガハズ
アスタリスクノヴァ
◇主催:小美玉市文化協会
【整理券配布施設】
アピオス、みの〜れ、コスモス
小川公民館、美野里公民館

1月20日(木)入場整理券配布開始!

ひととみの〜れ

中央高校 新田彩乃さん、茂木陽依さん、関野萌依さん

中央高校JRC同好会は、年間を通じて様々なボランティア活動に参加しています。「小さなお子さんたちとの交流ができます」という内容に興味を持ち、「BIRDぬり絵アーティストたちの芸術展」の運営に参加しました。接客対応は慣れていないので、不安でドキドキしましたが、「お子さんたちのこと、どんどん褒めてあげて。一緒に楽しんで」と実行委員の方々に優しく声をかけていただき安心して取り組むことができました。「はみ出したっていいじゃない。枠にはまらなくていい」というBIRDクリエイター大嶽一省さんの言葉がぴったりの雰囲気。幅広い年代の方と話し、協力して運営する良い経験ができ、またみの〜れでボランティアしたいと思いました。(談)



2023年2月の催し

※営利目的ではなくどなたでも入場可能で「文化芸術イベント情報掲載申込書」にて申込みをした催しのみ掲載しております。
※このスケジュールは2022年12月8日に作成したものです。新型コロナウイルスの影響により中止(延期)の可能性あります。

開催日	イベント	開演	場所	主催・問い合わせ先	料金
2月2日~2月15日	木 陽だまり横丁vol.190 水 糸かけ師 幸	9:00~21:00 最終日~15:00	みの〜れ ホワイエ	みの〜れ 0299-48-4466	入場無料
2月16日~2月26日	木 陽だまり横丁vol.191 日 己書(筆文字アート)作品展	9:00~21:00 初日12:00~	みの〜れ ホワイエ	みの〜れ 0299-48-4466	入場無料
1月30日~3月25日	月 ときめき美の小径 土 第16回企画展「感謝〜ありがとう」	9:00~21:00	みの〜れ 館内通路	みの〜れ 0299-48-4466	入場無料
2月19日	日 第8回コスモスシネマ「大コメ騒動」 1月7日(土)~チケット発売開始	①10:00 ②14:00	コスモス 文化ホール	コスモスプロジェクト・ 生涯学習センターコスモス 0299-26-9111	前売1,000円 (当日1,300円)
2月19日	日 三宅狂言会 狂言鑑賞会 発売中	14:00	みの〜れ 森のホール	茨城新聞社営業局事業部 029-239-3005	3,000円 (市民割引あり)
2月26日	日 みのり太鼓30周年記念公演 「響け!轟け!ありがとう!!」 発売中	13:30	みの〜れ 森のホール	みのり太鼓事務局(山本) 090-8315-3233	1,500円
2月26日	日 小美玉市文化協会公演事業 パラエティショー 1月20日(木)~整理券配布開始	13:30	アピオス 大ホール	アピオス 0299-58-0921	入場無料 (要整理券)

**2023年
2月の休館日**

アピオス	みの〜れ	コスモス
毎週月曜日 (月曜が祝日の場合はその翌日)	2月8日(水) 2月27日(月)	毎週月曜日・祝日 (月曜が祝日の場合はその翌日)

『みの〜れ君、20年後造ってよかったと言われていて欲しい。そうなるためには町民みんなが生きいきと出入りして、ステージに立って大きな拍手を送っていただければいいよね。みんなで楽しく育てるからね』私がタイムカプセルに込めた思い。その通りに育ったみの〜れ。あとをつなぐ頼もしい若者たちを見守りたい。<福島ヨコヒ>

おみた
Magazine
170号

令和4年12月22日

編集:みのんば編集局
(四季文化館みの〜れ内)
発行:小美玉市生活文化課
〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069
TEL:0299-48-4466

小美玉市の文化情報はホームページ・SNSでも発信中です!

アピオス みの〜れ コスモス

ホームページ 2次元コード

文化ホール3館座談会

みの〜れ誕生までの6年半を描いた「文化がみの〜れ物語」(2002年茨城新聞社)の序章には、20年後の成長した姿を未来日記として描かれています。その期待に応えるように、たくさんの人たちがこの20年間みの〜れを育ててきました。



おやこDEジャズ

アピオス40歳、みの〜れ20歳を迎えた節目の年。現在の3館のリーダーたちが、20年後をどう考え、どう描いているのか。「もしもこのまちに文化ホールが無かったら、いまこの地域はどうなっていたらだろうか」「地域に文化ホールが必要なのか、それはなぜなのか」を言語化し、後世に遺すことを目的に、座談会を行いました。



演劇ファミリーMyu

座談会は
Aグループ:年間事業の選定を行う住民組織の委員長
Bグループ:事業を支える文化ボランティア組織のリーダー
Cグループ:事業を主体的に担う若手リーダー格
の3つに分けて実施しました。

【取材】Aグループ:藤田佐知子 Bグループ:瀧澤比佐乃 Cグループ:保田孝雄



演劇Crew Cosmo's

Aグループ:小川文化センター活性化委員会委員長 大塚 好蔵さん

Bグループ:アピオスばるず会長 栗原 憲子さん

Cグループ:おやこDEジャズ キャスト 井坂 純子さん

アピオス

Aグループ:四季文化館企画実行委員会委員長 小池 伸二さん

Bグループ:みの〜れ支援隊隊長 近田 由美さん

Cグループ:演劇ファミリーMyu メンバー 門倉 栞さん

みの〜れ

Aグループ:コスモスプロジェクト委員長 貝塚 勇さん

Bグループ:コスモスサポーターズ会長 内田 保さん

Cグループ:演劇Crew Cosmo's メンバー 慶野 さくらさん

コスモス

「客席に座るところ」から「共に創る、演じる、支える、観る」への改革」



小川文化センター
活性化委員会委員長
大塚 好蔵さん

普通に暮らしていたら巡り会えなかった人と出会うことができる場がアピオスです。体育会系の私が文化芸術に関わり、こんなにもハマるとは思わなかったですね。「芸能人の公演を観に行くところ」から「自分たちの手で生み出す、創り出す場」に変革しました。人生の満足度を高めるためにはアピオスが必要です。

「みの〜れ20年目の大改革! 参画住民の本気を引き出し、自分事化を一気に推進」



四季文化館
企画実行委員会委員長
小池 伸二さん

みの〜れ13プロジェクトが次年度予算獲得を掛けた事業企画プレゼンテーションを実施。新規参加者獲得、地方創生視点、外部資金獲得、横連携、主体性など9項目で審査。四季文化館企画実行委員会委員が住民視点から審査選定し、企画を磨き上げる取り組みが始まっています。

「自分の人生をどうデザインするか。文化芸術活動はココを担える存在」

新しい社会の有り様を考えながら、住民がまち育て・ひと育てに深く関わっていく時代。住民が成熟するために文化芸術活動が担う役割は大きいと思います。関わる人数ではなく深さ。そのためには、文化ホール3館がさらに横連携していく必要があります。こうした座談会を多面的に実施していきましょう。



コスモスプロジェクト委員長
貝塚 勇さん

「対話の文化を学び、コミュニケーション力を向上させる人材育成の場」

異なる考えや意見をすり合わせながら新しいものを作り出す「対話の文化」。これを軸に人材育成を実践している小美玉市の文化ホールの最前線が文化ボランティアです。現代社会を生きていく上で必要とされる主体性、多様性、協働性、表現力が磨かれる体験の場。若者はもちろん、多くの人たちに気軽に参加できる体制を整えていく必要があると思います。



アピオスばるず会長
栗原 憲子さん

「人と人とのつながりを生む、みの〜れライフ」

人と人とのつながりこそが最も大切だということ、みの〜れ20歳の節目に再確認しました。愛情や想いは、年数を重ねることで深さを増していきます。子どものうち、若いうちから参加しやすいように工夫し、みの〜れを人生のそばに置いてイキイキと暮らすライフスタイルを実現してもらいたいです。



みの〜れ支援隊隊長
近田 由美さん

「3館の個性を活かしながら連携を図る」

コスモスは、文化ホールに図書館・公民館・史料館が併設された複合施設。この特性を生かすため、プロジェクトを通してその過程を「学び」と捉えることに主眼を置くホールにしていきたいです。若い人の参加参画を定着させるには、場の雰囲気を含め、ゆるくつながり、人間関係を構築するコミュニティリーダーの存在が不可欠です。ここを育てていきたいと思っています。



コスモスサポーターズ会長
内田 保さん

「シビックプライドを醸成するみの〜れ」

みの〜れで出会った方のおかげで自分の人生が変わり、小美玉市に愛着がわき、小美玉市に関わるが増えました。人に恵まれたみの〜れは、今後もあり続けて欲しい大切な居場所。この場所に集う人を増やし、創造するよろこびを沢山のの人に体験してもらい、諸先輩が育ててくれた大切なみの〜れを成長させていきたいです。



演劇ファミリーMyu
メンバー 門倉 栞さん

「心の火種を探ることができる貴重な第3の場所」

住民主体の文化ホールは、他の地域にはない小美玉市ならではの恵まれた貴重な居場所。小美玉市を一度離れてみて実感しました。演劇は対話の文化の象徴。未来を育む教員経験などを演劇にも活かし、子どもたちと一緒に歩んでいける文化ホールであり続けたいです。そして、心からやりたいことを見つけてほしいです。



おやこDEジャズ
キャスト 井坂 純子さん

「自分の声在必り届き、自分の居場所が見つかる」

演劇を通じて自分の思いをおもてに出すことの大切さを実感し、自分の居場所が見つかり世界観も広がりました。今後も、誰もが気軽にいつでも楽しく関わっていけるコスモスであり続けてほしいです。このため、人と人をつなげ、関わった人の声在必り誰かに届き、みんなで育てる居場所づくりをしていきたいです。



演劇Crew Cosmo's
メンバー
慶野 さくらさん